

令和5年度

# 部 方 針 書

太田市マネジメントシステム



令和5年 4月

群馬県太田市役所

## 目 次

・秘書室	1
・企画部	3
・総務部	5
・市民生活部	7
・文化スポーツ部	9
・福祉こども部	11
・健康医療部	13
・産業環境部	15
・農政部	17
・都市政策部	19
・行政事業部	21
・会計課	23
・消防本部	25
・教育部	27
・議会事務局	29
・選挙管理委員会事務局	31
・監査委員事務局	33
・農業委員会事務局	35

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	秘書室	部局長氏名	笠原 淳一	当初策定	令和5年 4月 7日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標			中間評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり				令和 年 月 日
					最終評価	令和 年 月 日
					変更①	令和 年 月 日
					変更②	令和 年 月 日

■部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1	秘書に関すること	秘書室	リスク ・公務、政務、私用の区分け ・アポイント受付・入力の誤り ・事業進捗の遅れ
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			機会
	7			・スケジュール管理の効率化
	8			・研修への積極的参加
	9			・新規配属職員のOJT
	10			
	11			
	12			
■部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■部局長ビジョンに関する今後の展望	
市長・副市長の体調に留意しながら、休養が取れるようなスケジュール管理を心掛ける必要がある。特に市長は多忙を極めていることから、行事等への出欠については市長の意向を確認するとともに、過去の出欠状況や重要度などから優先順位を見極め、時には欠席することを進言することも必要と考える。また、職員に対してのOJTを進め、少ない人員で効率的な仕事ができるよう、努めなければならない。			スケジュール管理に関しては導入したタブレット端末の活用により効率性、正確性が大きく向上している。この端末を十分に活用して、市長、副市長の効率的な公務遂行のサポートに努めること。そしてそのことが十分な休養に繋がる。また、職員一人一人のスキルアップに努め、良好なワークライフバランスを心掛けること。	
■施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)				
秘書に関すること ①効率の良いスケジュール管理 市長・副市長の体調に留意し、過密なスケジュールにならないように配慮しなければならない。重要度や緊急性などを見極め、相手方や関係者と調整しながら効率的なスケジュールを立て、円滑な公務遂行をサポートすること。				

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	秘書室	部局長氏名	笠原 淳一
■対応方針 (課題を解決するための対策)			
<p>①効率の良いスケジュール管理            タブレット端末の導入により、スケジュール管理は効率性や正確性が大きく向上している。このことを市長・副市長の公休日取得推進につなげられるようにしたい。公務が1～2件と少ない日は他の日に集約することを心掛け、2～3週間前になっても1件も公務の予定がない日については、それ以降は公務を入れないようにするなどして休日を確保する。また、夜の会合等に関しても関係者と調整して、少なくとも週のうち1日は定時退庁ができるようにしたい。特に年度初め、年末年始などの時期は各種団体等との会合が多くなるので留意すること。</p>			
■上半期評価 (上半期を終えた時点での方針展開の評価)			
■(年度評価) 方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	企画部	部局長氏名	高橋 亮	当初策定	令和 5年 4月11日	
第2次太田市総合計画	基本理念	基本目標			中間評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑬市民が主体のまちづくり				
	(6) 健全な行政運営の推進	⑭市民が個性と能力を発揮できるまちづくり			最終評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行政運営を目指すまちづくり				
					変更①	令和 年 月 日
					変更②	令和 年 月 日

■部の施策					
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会	
基本施策	1	⑬-36 広報広聴体制の充実		広報課	市広報の購読世帯減少・情報の周知・災害広報
	2	⑭-37 国内外交流の推進		国際課	関係者調整・交流機会
	3	⑮-39 効率的で健全な行政経営の推進		人事課	人事制度改革、人員配置、人材育成、公務災害
	4	⑮-39 効率的で健全な行政経営の推進		情報管理課	デジタル化の推進・情報セキュリティ
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
その他の施策	1	重要施策の企画及び総合調整		企画政策課	関係者調整・構想立案と市民参加
	2	組織及び事務管理に関すること		行革推進課	事務事業に見合う人材・組織マネジメント
	3	広域行政の企画、調整及び推進		企画政策課	関係者調整・協働研究と実施
	4	マネジメントシステムに関すること		企画政策課	職員の理解度・質の高い市民サービス
	5	統計調査に関すること		企画政策課	調査の漏洩遅延及び精度・調査員研修
	6	行政改革の推進		行革推進課	市民満足度低下、公共施設再編
	7	人事管理		人事課	職員の健康、ストレスケア、コンプライアンス
	8	多文化共生の推進		国際課	多文化対応人員・日本語学習・やさしい日本語
	9				
	10				
	11				
	12				
■部局長ビジョン（現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など）			■部局長ビジョンに関する今後の展望		
持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた重要施策の推進			①第2次太田市総合計画後期行動計画の推進及び次期総合計画の策定に取り組む ②質の高い市民サービスと安定した行政運営を実現するため、効果的な行政改革並びに持続可能な公共施設マネジメントの取組みを長期的かつ計画的に行う ③適正かつ柔軟な人員配置を実施する ④デジタル化の推進により、業務改革と市民の利便性向上の取組みを加速する		
①第2次太田市総合計画後期行動計画の基本目標、重点取組事項の実現に向けた諸施策を展開するとともに、次期総合計画の策定に向けた取り組みを推進する ②行政改革の更なる取組みと効果的な公共施設マネジメントを推進する ③職員の働き方改革を推進する ④デジタル化の取組みを加速し、社会のデジタル化の進展に対応した諸施策を展開する					
■施策の課題（部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策）					
①総合計画等の重要施策について、実績の検証、企画立案・総合調整 人口ビジョンの目指す2040年20万人維持、その他政策課題や懸案事項を解決するために、総合計画や市長直轄の重要施策・特命事項を的確に捉えた実効性ある企画立案・総合調整・事業展開を図ること。 ②行政改革と公共施設マネジメントの推進 時代に即した行政需要に対応できる組織機構の再構築、持続可能な市民サービスの提供に資する公共施設等の全体最適。 ③職員の働き方改革の推進 人事制度の構築と職員満足度を向上させる施策の実施 ④多文化共生社会の実現に向けた施策の推進 増加する外国人対策や日本語教育及び定住化する外国人市民への多文化共生施策の推進。 ⑤デジタル技術の活用とデジタル化に対応した施策の推進 実効性のあるDXの推進並びにマイナンバーカードの利活用推進による持続可能な市民サービスの提供と情報セキュリティ対策の徹底。 ⑥正確な行政情報の提供と周知 市民ニーズを捉えた積極的な情報発信と、多様化する市民の行政情報入手手段の検討。					

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	企画部	部局長氏名	高橋 亮
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p>①総合計画等の重要施策について、実績の検証、企画立案・総合調整 第2次太田市総合計画後期計画に基づき、重要施策を的確に捉えた実効性ある企画立案・総合調整を行うとともに、市民ニーズを掘り下げ、持続可能なまち太田を実現すべく次期総合計画の策定を進める。</p> <p>②行政改革と公共施設マネジメントの推進 市民ニーズを的確に捉え、柔軟かつ合理的な組織機構を検討する。組織横断的な公共施設マネジメント推進体制を構築し、予防保全による計画的な施設の長寿命化及び集約化・複合化による施設の最適化に努め、継続的な取組みを推進する。</p> <p>③職員の働き方改革の推進 業務の平準化と時間外削減を推進するとともに、今後の定年延長に向けて検討を要する職務を明確化していく。</p> <p>④多文化共生社会の実現に向けた施策の推進 増加する外国人に対応した、外国人ワンストップサービス、日本語教室及び情報伝達方法の更なる充実を図る。今後も、外国人集住都市会議の構成都市として、地域で顕在化する外国人問題の解決に向けた取組みを継続する。</p> <p>⑤デジタル技術の活用とデジタル化に対応した施策の推進 DX施策を展開して業務改革に取り組み、窓口業務の効率化と市民の利便性向上を図るとともに、デジタル活用を支援するための取組を推進する。また、デジタル化の進展に対応した、情報セキュリティポリシーを徹底する。</p> <p>⑥正確な行政情報の提供と周知 情報をブラッシュアップし複層的な発信に努めるとともに、様々な情報媒体を用いた情報発信体制の構築に努める。</p>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	総務部	部局長氏名	瀬古 茂雄	当初策定	令和 5年 4月3日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標			中間 評価	令和 年 月 日
	(3) 生活環境の整備	⑦災害に強いまちづくり				
	(3) 生活環境の整備	⑧日常生活の安全を向上させるまちづくり			最終 評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり				
					変更 ①	令和 年 月 日
					変更 ②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1 ⑦-14 防災対策の推進		危機管理室	自然災害
	2 ⑧-17 防犯体制の強化		危機管理室	住環境の変化
	3 ⑮-39 効率的で健全な行政経営の推進		財政課	施設の更新費用・管理経費の増加
	4 ⑮-39 効率的で健全な行政経営の推進		管財課	施設の老朽化
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1 文書管理に関すること		総務課	公文書の増大
	2 公会計システムの改訂に関すること		財政課	予算編成の積極的利活用
	3 市庁舎及び分庁舎の総合調整に関すること		管財課	施設の老朽化
	4 入札・契約に関すること		契約検査課	事件事故の発生
	5 工事検査・補助金審査に関すること		契約検査課	監督員の指導・検査水準の確保
	6 市税の賦課に関すること		市民税課・資産税課	課税客体の把握
	7 市税の徴収に関すること		収納課	収入未済額の増加
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			

<p>■部局長ビジョン（現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など）</p> <p>①身の丈に合った行財政運営の推進                  ②市庁舎の長寿命化、市有財産のより効率的な運用及び脱炭素社会に向けた取組み                  ③市民の生命、身体及び財産等の安全を確保するための危機管理の強化                  ④公平公正な入札・契約事務の執行                  ⑤適正な賦課徴収による自主財源の確保                  ⑥防犯体制の強化</p>	<p>■部局長ビジョンに関する今後の展望</p> <p>①成果の検証、費用対効果による事業見直し、経常経費等の縮減 ②市庁舎の計画的な改修、公用車の運用方法の見直し、脱炭素社会に向けた施設管理 ③各種訓練等を通じた災害対応業務の精度向上 ④入札関連法令に則り、審査実績等を踏まえた入札制度の見直し、改善⑤課税客体の適正な把握、税収率の向上と税外債権の適正管理推進⑥犯罪の未然防止と抑制</p>
---	--

■施策の課題（部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策）
<p>①健全な財政運営の推進                      将来を見据えた財政運営を図るため、市債残高の縮減に向けた計画的な予算措置、予算管理に努める。</p> <p>②市庁舎の長寿命化及び分庁舎の効率的な運用                      25年経過した本庁舎の更新対象となる設備の集中、エネルギーコストの増加、公用車の老朽化及び更新車両の増加</p> <p>③災害対策の推進                      各部局が主体的に災害対応が図れるようにするため、各種訓練や研修等を通じて、その理解度を向上させるとともに、市民に「自助」の重要性を普及・啓発していく。</p> <p>④入札・契約・工事検査・補助金審査に関すること                      公正・公平な入札執行、工事の品質確保及び請負業者の育成を図る。</p> <p>⑤自主財源の確保                      課税客体の的確な把握を行うことにより、公平・公正でかつ適正な課税を行う。また、滞納整理を強化し、収入未済額の縮減と収納率の向上を図る。税外債権については、債権所管課との連携を図り適正な債権管理を進める。</p> <p>⑥文書管理に関すること                      文書の適切な作成、保管、廃棄の徹底を進め、情報公開及び個人情報保護制度の適正な運用に努めるとともに、併せて紙文書の削減を図る。</p> <p>⑦防犯体制の強化                      犯罪の未然防止や抑制のため、防犯カメラや防犯灯などの防犯機器の適切な配置や管理運営に努める。</p>

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	総務部	部局長氏名	瀬古 茂雄
■対応方針（課題を解決するための対策）			
<p>①健全な財政運営の推進 引き続き、「償還元金を超えない市債の発行」を堅持し、計画的な予算管理や将来負担の軽減に努める。</p> <p>②市庁舎の長寿命化及び分庁舎の効率的な運用 計画的な改修による費用の平準化、コジェネ導入による脱炭素及びエネルギーコストの検証、公用車の運用方法の見直し及び総量の抑制、将来的なEV車導入の研究</p> <p>③災害対応の推進 総合防災訓練を始めとした各種訓練の効果的な実施、検証により、災害対応の精度向上を図るとともに、地域防災計画や災害対応マニュアル等に基づき、各部局が主体的に訓練を実施し、災害時の役割・行動の確認を行い、継続的に改善を図る。また、自主防災組織に各種訓練の積極的な実施を促し、活動を支援する。</p> <p>④入札・契約・工事検査・補助金審査に関すること 入札結果などから入札制度の改善点を摘出し、制度見直しに係る提案を入札審査委員会に適宜諮る。また、中間施工検査、指定検査員制度等の充実を図るほか、監督員確認事項の徹底など監督員の指導を充実させることで、請負業者の育成並びに工事の品質確保に繋げる。</p> <p>⑤自主財源の確保 市民税については、未申告者等の申告相談や実態調査を適宜行うとともに、課税事務の効率化に努める。資産税については、評価替え事務を適正に遂行するとともに、充実した資産調査による課税客体の正確な把握を行う。税収納については、納税環境の拡充による納期内納付を進め、納期限後の未納者に対しては文書や電話による催告を継続して実施するとともに、滞納処分にも積極的に取り組み収入未済額の縮減に努める。税外債権については研修会を開催し、債権管理業務に関する相談と支援を行う。</p> <p>⑥文書管理に関すること 文書管理等に関する説明会の実施、ファイリング巡回指導等を通じ、職員の理解度を高める。</p> <p>⑦防犯体制の強化 警察や関係機関と連携し、防犯カメラや防犯灯の適切な配置・管理に努め、犯罪の起きにくい環境づくりを進める。</p>			
■上半期評価（上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			



# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	市民生活部	部局長氏名	大谷 健	当初策定	令和5年4月10日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標				
	(1) 教育文化の向上	③豊かな心と文化を育むまちづくり			中間評価	令和 年 月 日
	(3) 生活環境の整備	⑧日常生活の安全を向上させるまちづくり				
	(5) 都市基盤の整備	⑪安全で便利な道路や交通機関のあるまちづくり			最終評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑬市民が主体のまちづくり				
	(6) 健全な行政運営の推進	⑭市民が個性と能力を発揮できるまちづくり			変更①	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり			変更②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
主な施策名		新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1 ③-5 生涯学習の推進		地区振興課	市民要望の的確な把握、施設の適正管理
	2 ⑧-18 消費生活の安定		市民そうだん課	消費者被害の複雑化・巧妙化、研修への参加
	3 ⑧-19 交通安全対策の推進		交通対策課	市民要望の的確な把握及び改善策に実施
	4 ⑪-28 交通体系の整備		交通対策課	市民要望の的確な把握及び改善策に実施
	5 ⑬-35 地区住民活動の推進		地域総務課・地区振興課	市民要望の的確な把握及び改善策に実施
	6 ⑬-36 広報広聴体制の充実		市民そうだん課	多様化する市民要望に対する適切な対応
	7 ⑭-38 互いを認め合い人権を尊重する社会の実現		市民そうだん課	事業認知度の向上策の検討・実施
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1 市民活動・NPOの推進		市民そうだん課	事業認知度の向上策の検討・実施
	2 戸籍に関すること		市民課	職場研修の充実、先進地事例の活用・実施
	3 住民基本台帳に関すること		市民課	職場研修の充実、先進地事例の活用・実施
	4 印鑑登録に関すること		市民課	業務ミスの増加、職場研修の充実
	5 一般旅券事務		市民課(東サービスセンター)	業務ミスの増加、職場研修の充実
	6 証明・届出に関すること		市民課・地区振興課(太田・飯塚本町行政センターを除く)	業務ミスの増加、新サービスの研究・実施
	7 ふるさと納税に関すること		地域総務課	個人市民税の減収、交流人口の増加
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			

■部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)      ■部局長ビジョンに関する今後の展望

<ul style="list-style-type: none"> <li>① 誰もが安心して暮らせる地域社会の実現</li> <li>② 市民目線に立ったサービスの提供</li> <li>③ 持続可能な地域公共交通の構築</li> <li>④ 市民参加のまちづくり活動の推進</li> <li>⑤ ふるさと納税を活用した魅力発進</li> <li>⑥ 地域の拠点となる行政センターの効率的な組織運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 人権及び多様性を尊重する社会を推進するための施策</li> <li>② DXを活用した市民窓口の利便性向上</li> <li>③ 公共交通施策の検証及び改善策の立案</li> <li>④ 幅広い世代の参加による地域コミュニティの活性化</li> <li>⑤ ふるさと納税制度を活用した税外収入の確保</li> </ul>
--	---

■施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)

○人権意識の向上と多様性への理解及び安全な消費活動の推進  
 意識調査によると、人権問題における市民のすべきことは「正しい知識を身につける」との回答が高い割合を占めているが、現状は認識が不足している状況にある。消費生活相談については、インターネット通販による相談が増えている。主なものは、詐欺サイトや定期購入トラブルがあり相談内容が複雑化していることから予防や周知などの対応が必要である。

○DXを活用した市民窓口の利便性向上  
 窓口の混雑を解消し職員の時間外勤務を削減するため、業務の分散化やDXを活用することにより窓口の利便性向上及び職員の負担軽減を図る。

○利用者目線に立った公共交通の実現  
 全ての市民が利用できる公共交通網の構築に向けた実施計画の検討。路線バスの新規路線の検討やおうかがい市バスの効果的な運行。

○地域活動の活性化の推進  
 1%まちづくり事業を活用して地域コミュニティの活性化を図る。

○ふるさと納税制度を活用した新たな取り組みの推進  
 ふるさと納税の寄付額増加に繋げるため、太田市の新たな魅力を発信し、認知拡大を目指す。

○行政センター間の連携強化と効率的な組織運営  
 地区振興課内はもとより各行政センター間の連携を強化し、資産・資源の有効活用を図ることで効率的で効果的な組織運営

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	市民生活部	部局長氏名	大谷 健
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p>○人権意識の向上と多様性への理解及び安全な消費活動の推進 人権意識向上のための継続的、効果的な啓発活動の推進。消費生活トラブルの未然防止のための教育、啓発と、様々な相談に対応できる消費生活センター体制の強化、充実を図る。</p> <p>○DXを活用した市民窓口の利便性向上 マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利便性をPRするとともに、サービスセンター・行政センターの利用促進を図る。また、セミセルフレジ及び書かない窓口を導入し市民サービスの向上を図る。</p> <p>○利用者目線に立った公共交通の実現 既存の公共交通の利用実績を検証し、利便性の高い公共交通の在り方を検討する。改善策としては、路線バスの新規路線の検討、おうかがい市バスの可能な限りの利用要件の緩和。</p> <p>○1%まちづくり事業の推進 地域コミュニティの活性化には、幅広い世代の参加が必要なことから、1%まちづくり事業を活用し地域を巻き込んだ活動を推進していく。</p> <p>○ふるさと納税の充実 ふるさと納税は魅力ある返礼品の開拓・拡充と共に、太田市の認知度を上げる対策を講じ寄付額の増加に繋げたい。</p> <p>○行政センター間の連携強化と効率的な組織運営 各行政センターが重複して有する資産(設備・人員・ノウハウ)について、機能集約や共有化または転換など人口減少社会に対応するための方向性を検討する。</p>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	文化スポーツ部	部局長氏名	松本和明	当初策定	令和 5年 4月11日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念		基本目標		中間 評価	令和 年 月 日
	(1) 教育文化の向上	②生涯にわたってスポーツに親しみ楽しめるまちづくり				
	(1) 教育文化の向上	③豊かな心と文化を育むまちづくり			最終 評価	令和 年 月 日
					変更 ①	令和 年 月 日
				変更 ②	令和 年 月 日	

■ 部の施策					
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会	
基本 施策	1	②-4 スポーツの振興		文化スポーツ総務課、スポーツ振興課、スポーツ学校担当、スポーツ施設管理課	・市民要望の多様化 ・サービス内容の拡充
	2	③-5 生涯学習の推進		学習文化課、美術館・図書館	・市民要望の多様化 ・サービス内容の拡充
	3	③-6 芸術文化の推進		文化課、美術館・図書館、芸術学校担当	・市民要望の多様化 ・施設の効率的な運営管理
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
その 他の 施策	1	文化スポーツ施設の改修		文化課、学習文化課、スポーツ施設管理課	・施設改修への補助金等の活用 ・計画的な改修・再整備の実施
	2	文化スポーツ施設の事業委託に関すること		文化スポーツ総務課	・委託事業の適正管理
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■ 部局長ビジョンに関する今後の展望		
芸術文化・スポーツを通じた豊かな市民生活の実現と安心・安全なイベントの開催 ①スポーツを通じた賑わいの創出並びに生涯スポーツ・ジュニアスポーツの推進及び国際スポーツキャンプ誘致事業の継続によるスポーツの振興 ②生涯学習・芸術文化活動の推進 ③文化スポーツ施設の計画的な整備及び改修と再整備方針の策定			①各種スポーツ団体等との連携による、スポーツ環境の整備と参加機会の充実を図る。 ②生涯学習・芸術文化活動の環境整備を推進する。 ③施設の長寿命化計画との整合を図り、実施計画へ位置付け計画的に推進する。		
■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)					
①スポーツを通じた賑わいの創出とスポーツの振興、国際スポーツキャンプ誘致事業の継続推進 ・プロスポーツ及びトップレベルスポーツを身近に感じられる機会の提供、スポーツへの関心や機運の持続とスポーツを通じたまちづくりの推進 ・事前キャンプの受け入れによるホストタウンを契機とした交流の継続推進 ②特色のある図書館の運営及び居心地の良い空間と利用しやすい図書館づくり並びに芸術文化活動の推進 ・地域の特色を活用した魅力的な図書館づくりと利用者ニーズに対応し、居心地の良いつろぎの空間を楽しめる図書館運営 ・美術館・図書館の特長を生かした独自性のある事業展開による芸術文化を享受する機会の提供 ③子どもたちの芸術文化・スポーツ活動の取組への支援と環境整備 ・スポーツ学校などを通じた、子どもたちのスポーツ活動への支援と環境整備、子どもたちが継続してスポーツを続けていくための関係団体と連携した研究 ・芸術学校の活動を通じた、子どもたちの豊かな感性の醸成と発表機会の充実を含む環境整備 ④市民の芸術文化意識の醸成と安心・安全な事業運営 ・市民の芸術文化活動や意識を醸成するため、多彩なジャンルのイベント等を通じた質の高い芸術文化の提供と、コロナ第5類移行後も含めた安心・安全な事業運営 ⑤文化スポーツ施設の改修と再整備 ・安心・安全な施設環境確保のため、老朽化が進む施設の長寿命化計画に基づいた再整備方針(建替え・改修・統合・廃止)の策定による計画的な整備・改修					

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

	文化スポーツ部	部局長氏名	松本和明
■対応方針 (課題を解決するための対策)			
<p>①スポーツを通じた賑わいの創出とスポーツの振興、国際スポーツキャンプ誘致事業の継続推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツによるまちづくり・地域活性化の推進」の施策に基づき、各種スポーツ団体と連携しスポーツを通じて賑わいを創出し、市民のスポーツへの関心を一層高める。</li> <li>・ホストタウン相手国であるオーストラリア及びマラウイ共和国の事前キャンプ受け入れなど、スポーツ分野での交流及び連携を継続的に推進する。</li> </ul> <p>②特色のある図書館の運営及び居心地の良い空間と利用しやすい図書館づくり並びに芸術文化活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4図書館の持つ特徴を活用した継続的な運営と多様化する利用者ニーズに対応した効率的な図書館運営を行い、併せて令和6年度に予定されている新田図書館開館に向けた準備を進める。</li> <li>・美術館と図書館が融合する施設の特長を生かし、多彩な芸術文化を享受する機会の提供と中心市街地の賑わいを創出する取組を推進する。</li> </ul> <p>③子どもたちの芸術文化・スポーツ活動の取組への支援と環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの子どもたちがスポーツに親しむ場を提供できるよう、関係機関との連携を強化し、更なる競技力の向上とジュニアスポーツ人口の拡大を図る。</li> <li>・芸術学校の活動を通じて、子どもたちの発表の機会及び市民が音楽や演劇を鑑賞できる機会の充実を図る。</li> </ul> <p>④市民の芸術文化意識の醸成と安心・安全な事業運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩なジャンルの公演等の実施と市民自ら参加できる機会を提供するとともに、コロナ第5類移行後も含め状況に応じた感染防止対策を図り、安心・安全な事業の開催と周知を図る。</li> </ul> <p>⑤文化スポーツ施設の改修と再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動公園全体整備事業や弓道場改築工事の計画的な業務遂行を図る。</li> <li>・新田文化会館・総合体育館大規模改修工事設計業務委託を行う。</li> <li>・他の施設については、長寿命化計画に加え、緊急性や重要度に基づいた再整備方針と優先順を定め、整備・改修等を進める。</li> </ul>			
■上半期評価 (上半期を終えた時点での方針展開の評価)			
■(年度評価) 方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	福祉こども部	部局長氏名	富岡 和正	当初策定	令和 5年 4月 1日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念		基本目標			
	(2) 福祉健康の増進	④みんなで支える福祉のまちづくり			中間評価	令和 年 月 日
	(2) 福祉健康の増進	⑤安心して子育てができるまちづくり			最終評価	令和 年 月 日
				変更①	令和 年 月 日	
				変更②	令和 年 月 日	

■部の施策					
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会	
基本 施策	1	④-8 介護・高齢者福祉の推進		長寿あんしん課	健康増進・生きがいづくりの場の提供
	2	④-9 障がい者福祉の推進		障がい福祉課	サービス内容の拡大・関係者との調整
	3	④-10 地域福祉の推進		社会支援課	サービス内容の拡大
	4	④-10 地域福祉の推進		社会福祉法人監査室	指摘事項に対する法人側の対応遅れ
	5	⑤-11 子ども・子育て支援の充実		こども課・子育てそだん課・児童施設課	サービス内容の拡大・関係機関連携強化
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
その 他の 施策	1	重層的支援体制整備事業の推進		社会支援課	積極的な事業の推進
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
■部局長ビジョン（現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など）			■部局長ビジョンに関する今後の展望		
①生活困窮者の自立支援及び重層的支援体制整備事業の推進 ②地域生活支援拠点整備事業の充実及び市営地域活動支援センターの法定サービスへの移行の推進 ③高齢者いきがい推進事業の充実 ④子育て世帯のベーシックサービス事業の推進 ⑤家庭児童相談及び発達相談の支援強化 ⑥放課後児童クラブ・こどもプラッツの充実			・重層的支援体制の連携強化 ・アウトリーチの継続、円滑な法定サービス移行 ・居場所づくり、健康寿命の延伸 ・給食費助成事業の円滑な実施 ・虐待案件等の迅速、的確な対応 ・保育環境の充実		
■施策の課題（部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策）					
①自立や就労に向けた関係機関との連携を図る。重層的支援体制整備事業の関係各課及び関係機関との連携を図る。 ②地域生活支援拠点整備事業の充実及び市営地域活動支援センターの法定サービスへの移行の推進 障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるため、地域生活支援拠点の整備を充実させる。緊急対応をつくらない体制づくりが大切であり、情報共有が重要となる。また、2箇所の地域活動支援センターにおいては、更なる利用者へのサービス向上のため、法定サービスへの移行を推進する。 ③高齢者生きがい推進の充実 ひとり暮らし高齢者が生き生きと地域で暮らせるように居場所づくりと合わせ買い物支援を行う ④子育て世帯のベーシックサービス事業の推進 出生率が伸び悩む中、第2子、3子事業として実施してきた給食費助成を第1子からに拡大させ、ベーシックサービス事業としてより幅広く子育て世帯の経済的負担を軽減させる。 ⑤家庭児童相談及び発達相談の支援強化 家庭児童相談については、「こども家庭センター」設置についての検討、発達相談については、医療機関との調整と新たな医療機関の開拓。 ⑥放課後児童クラブ・こどもプラッツの充実 放課後児童支援員等の質の高い人材を安定的に確保する事、また、健康で意欲を持って就業が出来るよう労働環境の整備。					



## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	福祉こども部	部局長氏名	富岡 和正
■対応方針 (課題を解決するための対策)			
<p>①生活困窮者の自立支援及び重層的支援体制整備事業の推進          自立相談支援センター、フードバンク、ハローワーク等関係機関との連携により、支援と自立の促進を図る。          重層的支援体制整備事業について、人事異動等を考慮するとともに、再確認も含め研修会を実施する。</p> <p>②地域生活支援拠点整備事業の充実及び市営地域活動支援センターの法定サービスへの移行の推進          知的障がい者、身体障がい者を対象としたアウトリーチを継続して実施していく。また、精神障がい者については、重層的支援体制整備のなかでの対応や、県保健福祉事務所を通じて、こころの健康センターアウトリーチ活動へケース依頼し実施していく。地域活動支援センターにおいては、「太田地域活動支援センター」と「藪塚しゅらん地域活動支援センター」が令和6年度から法定サービスに移行するための事務を推進する。</p> <p>③高齢者生きがい推進の充実          ひとり暮らし高齢者が参加する、お茶の間カフェにをを通じて買い物の支援、生きがいの推進を行う。</p> <p>④子育て世帯のベーシックサービス事業の推進          令和4年度から開始したベーシックサービス事業の内容を一部変更し、第1子からの給食費助成を実施する。</p> <p>⑤家庭児童相談及び発達相談の支援強化          家庭児童相談については、児童福祉と母子保健の一体的支援を行う「こども家庭センター」設置の可否について、県内他市町村の動向調査と母子保健を担当している健康づくり課との協議を実施する。発達相談については、相談件数の増加に伴い、近隣の医療機関へ繋ぐ件数も多くなり、診きれない医療機関もあるため、現在、診てもらっている医療機関の調整と新規に診てもらえる医療機関を検討する。</p> <p>⑥放課後児童クラブ・こどもプラッツの充実          放課後児童支援員認定資格研修、放課後児童支援員等資質向上研修など各種研修への参加・実施をする。また、放課後児童クラブ支援員の処遇改善事業とプラッツスタッフ報酬の引上げを実施する。</p>			
■上半期評価 (上半期を終えた時点での方針展開の評価)			
■(年度評価) 方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	健康医療部	部局長氏名	大澤 美和子	当初策定	令和 5年 4月10日
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標		中間 評価	令和 年 月 日
	(2) 福祉健康の増進	④みんなで支える福祉のまちづくり			
	(2) 福祉健康の増進	⑥健康で元気に暮らせるまちづくり		最終 評価	令和 年 月 日
				変更 ①	令和 年 月 日
				変更 ②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1 ④-8 介護・高齢者福祉の推進		介護サービス課	介護給付の適正化、保険料徴収の強化
	2 ⑥-12 健康の増進		健康づくり課	健康寿命の延伸と健康格差の縮小
	3 ⑥-12 健康の増進		新型コロナウイルス感染症対策室	感染症対策
	4 ⑥-13 医療・保険制度の充実		国民健康保険課	国民健康保険税の確保、医療費の適正化
	5 ⑥-13 医療・保険制度の充実		医療年金課	医療給付の適正化、保険料徴収の強化
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1 予防接種、母子保健事業		健康づくり課	事業拡大に伴う財源と人員の確保
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			

■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)	■ 部局長ビジョンに関する今後の展望
①市民の健康の保持増進、感染症の予防への取組み ②国民健康保険、介護保険の適正な適用と給付への取組み ③介護保険、後期高齢者医療保険料の徴収強化 ④高齢者の介護予防・認知症予防及び認知症高齢者への支援体制の強化、第9期介護保険事業計画の策定 ⑤デジタル化の推進	・必要な医療の受診の支援やワクチン接種の実施 ・各種けん診受診者数の向上 ・糖尿病性腎症重症化予防 ・保険料、保険税の収納率の向上 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 ・地域包括ケアシステムの推進 ・認知症高齢者家族支援体制の構築 ・新田・藪塚本町保健センターの統合 ・SNSの活用や電子申請の推進

■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)
①市民の健康の保持増進、感染症の予防への取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>けん診、相談、教育、家庭訪問等の各種保健事業及び予防接種事業の推進</li> <li>群馬県や医師会等と連携し、新型コロナウイルスワクチン接種の推進</li> <li>医療の適正受診と福祉医療制度の将来にわたる安定的な維持</li> </ul> ②国民健康保険、介護保険の適正な適用と給付への取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険の安定的な運営を図るための国民健康保険税の確保と保険給付及び医療費の適正化</li> <li>介護予防事業と介護給付費適正化事業による給付費抑制</li> </ul> ③介護保険、後期高齢者医療保険料の徴収強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>法令を遵守した保険料客体の把握と適正な債権管理、収納課と連携した滞納整理強化による収入未済額の縮減と収納率の向上</li> </ul> ④高齢者の介護予防・認知症予防及び認知症高齢者への支援体制の強化、第9期介護保険事業計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者の健康増進、並びに高齢者の特性を踏まえた保健事業と介護予防の一体的実施事業の推進</li> <li>認知症理解への啓発及び認知症高齢者高齢者家族支援体制の強化</li> <li>令和6年度からの3年間の介護保険事業計画の策定</li> </ul> ⑤デジタル化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを活用した市民とのコミュニケーションや電子申請の推進による市民サービスの向上と事務の効率化</li> </ul>

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	健康医療部	部局長氏名	大澤 美和子
<p>■対応方針 （課題を解決するための対策）</p>			
<p>①市民の健康の保持増進、感染症の予防への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPV9価ワクチンの定期接種化について、対象者へ周知・広報を行う。</li> <li>・妊娠届出時から切れ目のない支援を推進する。</li> <li>・健康な生活習慣を推進するための健康教育や健康相談の内容を充実させる。</li> <li>・福祉医療制度を将来にわたって安定的に維持するため、重複受診やコンビニ受診を控えるよう啓発しながら、適正な制度利用の周知に努める。</li> </ul> <p>②国民健康保険、介護保険の適正な適用と給付への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険給付の適正化のため、レセプト点検や第三者求償等を実施する。医療費の適正化のため、保健事業を実施する。年金・収納部門と連携し国保適用の適正化に取組み、適正かつ効率的な国保税の賦課に繋げる。国保税の確保のため、収納部門と連携し滞納者対策を実施する。</li> <li>・要介護認定調査内容の点検と指導を強化する。</li> <li>・住宅改修等での現地調査やケアプラン点検・医療情報との突合・給付費通知を実施する。</li> </ul> <p>③介護保険、後期高齢者医療保険料の徴収強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険料収納業務は、口座振替の奨励、キャッシュレス決済の拡充による自主納付の促進と、継続的な換価が見込める債権の差押えや担能力に応じた滞納処分執行停止にも注力し、収納率の向上に努める。</li> <li>・職員の債権の適正管理に関する知識を深め、スキルを習得するために継続して研修会に参加する。</li> </ul> <p>④高齢者の介護予防・認知症予防及び認知症高齢者への支援体制の強化、第9期介護保険事業計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者に対する健康診査の推進や人間ドックへの助成に努める。</li> <li>・高齢者の特性を踏まえた保健事業と介護予防の一体的実施事業の推進を図り、健康寿命の延伸や医療費の抑制に努める。</li> <li>・認知症サポーター養成講座やイベントの開催、認知症カフェ等の設置を推進する。</li> <li>・令和6年度からの3年間の介護保険事業計画を太田市高齢者福祉計画と一体的に策定する。</li> </ul> <p>⑤デジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請の拡充及び利用を促進をする。</li> <li>・SNSの積極的な活用など広報媒体を駆使した周知や勧奨により、各種けん診の受診数(率)の向上を図る。</li> </ul>			
<p>■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）</p>			
This area is intentionally left blank for evaluation content			
<p>■（年度評価）方針展開の年間評価</p>			
This area is intentionally left blank for annual evaluation content			



# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	産業環境部	部局長氏名	井上 恵美子	当初策定	令和 5年 4月 10日	
第2次太田市総合計画	基本理念	基本目標				
	(3) 生活環境の整備	⑨良好な環境を保全し向上させるまちづくり			中間評価	令和 年 月 日
	(4) 産業経済の振興	⑩活力ある産業とにぎわいのあるまちづくり				
	(6) 健全な行政運営の推進	⑭市民が個性と能力を発揮できるまちづくり			最終評価	令和 年 月 日
					変更①	令和 年 月 日
					変更②	令和 年 月 日

■部の施策					
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会	
基本施策	1 ⑨-20 環境政策の推進		環境対策課、脱炭素推進室	進捗の遅れ	
	2 ⑨-21 生活環境の保全		環境対策課、脱炭素推進室	関係者への啓発	
	3 ⑨-22 廃棄物の適正処理		清掃事業課	事業進捗の遅れ	
	4 ⑩-23 工業基盤の整備と産業支援		産業政策課	関係者との調整・必要人員の不足	
	5 ⑩-24 商業基盤の整備とにぎわいの創出		産業政策課	制度に関する周知不足	
	6 ⑩-26 観光事業の推進と交流人口の増加		観光交流課	感染症対策・事故の発生	
	7 ⑭-37 国内外交流の推進		観光交流課	関係者調整・交流機会	
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
その他の施策	1 勤労者福祉の充実		産業政策課	施設の老朽化	
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

■部局長ビジョン（現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など）	■部局長ビジョンに関する今後の展望
①キャッシュレス化の推進による地域経済の活性化や魅力ある店舗づくりの推進 ②第2次太田市総合計画に基づき、企業誘致、産業支援、創業支援、就労支援を推進 ③観光とスポーツを融合させた誘客及びPRの推進 ④国内交流の推進 ⑤第2次太田市環境基本計画の進捗管理 ⑥脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進 ⑦ごみの減量化及び資源化の推進	①デジタル地域通貨の推進による域内流通活性化及び空き店舗対策の充実 ②産業支援及び就労支援を推進するための諸施策の実施 ③新しい情報技術や観光スポーツによる新たな関係人口の増加の推進 ④第2次太田市環境基本計画に則った環境対策の推進 ⑤再生可能エネルギーの普及啓発及び再エネ機器の導入促進 ⑥解体工事の施工計画に沿った進捗管理と、ごみの減量化に向けた新たな仕組みの構築

■施策の課題（部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策）
①地域経済の活性化と魅力ある店舗づくりの推進 ・国の推奨する新しい生活様式におけるキャッシュレス化を推進することにより、地域経済の活性化を図るとともに、魅力ある店舗づくりのため、空き店舗対策支援事業や商店リフォーム支援事業を推進する。また、商工団体と連携し域内流通の活性化を図る必要がある。 ②アフターコロナを見据えた企業誘致、産業支援、創業支援、就労支援の推進 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、経営体力の低下した中小事業者の増加及びそれに伴う雇用状況の悪化に対応する必要がある。 ③観光事業の推進と関係人口の増加 ・観光拠点の魅力向上、安全確保のため観光施設の適正管理に努めるとともに、プロスポーツと観光の融合により太田市の魅力を積極的にPRするとともに、賑わいの創出と観光誘客・リピーター、関係人口の増加を図る。 ④国内交流の推進 ・姉妹都市、友好都市などの都市間交流を推進し、交流人口の増加を図る。 ⑤第2次太田市環境基本計画の進捗管理 ・第2次太田市環境基本計画に基づき、「環境みらい像」の実現とともに、温室効果ガス排出量等の年度目標を達成する必要がある。 ⑥再生可能エネルギーの普及啓発及び再エネ機器の導入促進 ・再生可能エネルギー設備の導入促進による普及と効果的な情報発信を行うとともに、高効率な機器の導入促進による省エネルギー化を図る必要がある。 ⑦解体計画を踏まえた循環型社会の構築と、ごみ減量施策強化の推進 ・持続可能な循環型社会の実現に向け、清掃センター解体工事については、施工計画に沿った進捗管理を行う必要がある。また、ごみの減量については、排出量を削減する施策を推進するとともに、紙ごみの分別について資源化を強化する必要がある。

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	産業環境部	部局長氏名	井上 恵美子
<b>■対応方針</b> （課題を解決するための対策）			
<p>①地域経済の活性化や魅力ある店舗づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式におけるキャッシュレス化を推進するため、太田市デジタル金券(OTACO)を発行し、域内流通の活性化を図るとともに、商工団体と連携したイベントなどの事業展開を図る。また、空き店舗対策支援事業補助金や商店リフォーム支援事業補助金の活用を推進する。</li> </ul> <p>②アフターコロナを見据えた企業誘致、産業支援、創業支援、就労支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度融資及び制度融資に係る保証料補助を実施して、中小事業者支援を図るほか、国の交付金を活用した女性の就労支援事業を実施するとともに、障がい者雇用を推進していく。また、太田市労政対策推進協議会を通じて課題解決に積極的に取り組む。併せて、中小企業に対し伴走型支援等を行うことで更なる成長を促していく。</li> </ul> <p>③観光事業の推進と関係人口の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携したPR、プロスポーツと観光の融合、SNSなどによる情報発信など持続可能な観光誘客、関係人口の増加を図る。</li> </ul> <p>④国内交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流都市からの人・ものの交流を活発に行い、さらなる交流都市との交流を深め、本市の関係人口の増加を図る。</li> </ul> <p>⑤温室効果ガス排出量削減の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次太田市環境基本計画に掲げた、「環境みらい像」の実現とともに、温室効果ガス排出量削減の目標達成に向けて、関係課と連携し、理解と協力を市民、事業者に呼びかけ、協働して温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進する。</li> </ul> <p>⑥省エネ行動、再生可能エネルギーの利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素社会の実現に向けて、太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用促進を図るとともに、省エネ行動及び機器の活用に対する啓発を強化する。</li> </ul> <p>⑦解体計画を踏まえた循環型社会の構築と、ごみ減量施策強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃センターの解体については、受注者に適切な指導・監督を行うことよりの解体計画に沿った進捗管理を行う。また、ごみ減量については、情報媒体を活用し啓発を推進するとともに、紙ごみの資源化について新たな仕組みを構築し、ごみ減量施策を強化する。</li> </ul>			
<b>■上半期評価</b> （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
<b>■（年度評価）方針展開の年間評価</b>			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	農政部	部局長氏名	金澤 誠	当初策定	令和 5年 4月 7日
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標		中間評価	令和 年 月 日
	(4) 産業経済の振興	⑩活力ある産業とにぎわいのあるまちづくり			
				最終評価	令和 年 月 日
				変更①	令和 年 月 日
				変更②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1 ⑩-25 農業生産基盤の整備と農業経営基盤の強化		農業政策課	後継者不足・補助金の活用
	2 ⑩-25 農業生産基盤の整備と農業経営基盤の強化		農村整備課	陳情案件への対応・調整
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1 地域計画に関すること		農業政策課	事業進捗の遅れ
	2 地籍調査事業に関すること		農村整備課	必要人員の不足・事業進捗の遅れ
	3 ふれあい農園の管理に関すること		農村整備課	事件事故の発生・自然災害の発生
	4 農地防災施設の管理に関すること		農村整備課	自然災害の発生
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■ 部局長ビジョンに関する今後の展望	
①地域計画の策定 ②農業基盤整備の推進 ③有害鳥獣対策 ④地産地消の推進 ⑤農地等の湛水被害防止対策			①地域での話し合いに基づく計画の策定 ②陳情案件の精査と計画的実施 ③地域と連携した有害鳥獣対策の推進 ④地場産農産物のPRと利用促進 ⑤湛水被害防止対策の継続	
■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)				
①地域計画の策定 令和5年、6年度の限られた期間内に市全域を範囲とする計画の策定が義務づけられており、効率的な策定作業を意識した計画を作成する必要がある。また、計画は地域関係者の話し合い結果に基づき作成されるため、関係者の招集や会議の設置・継続的運営方法等について決定する必要がある。 ②農業基盤整備の推進 用排水路や水門等の老朽化が進む中で陳情未処理案件を精査し、地域農業の実情を鑑みて計画的に取り組む必要がある。 ③有害鳥獣対策 近年、八王子丘陵や金山丘陵、渡良瀬川流域でのイノシシ出没数は減少傾向にある。この減少状態を維持するため、今まで以上に地区住民と連携しながら 農作物被害対策及び人的被害対策を実施する必要がある。また、市内での捕獲が増加傾向にあるアライグマやハクビシンほか、目撃情報の増えているシカなどの有害鳥獣に関する被害状況や生息状況の把握も積極的にを行い、捕獲の強化に取り組む必要がある。 ④地産地消の推進 安心安全な太田市産農産物を積極的にPRし、更なる消費拡大と認知度の向上を図るため、食の安全を意識した地産地消の取組を強化する必要がある。 ⑤農地等の湛水被害防止対策 農地防災事業により整備された幹線水路、遊水池等の維持管理に努めるとともに、排水機場の安全対策や機能維持のための更新並びに改修事業に取り組む必要がある。				

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	農政部	部局長氏名	金澤 誠
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p>①地域計画の策定 限られた時間内での策定が求められるため、期限終了時を見据え、各地域での話し合いを円滑に進め、効率的に策定事務を執行できる事業計画を策定し、進捗管理に努める。また、話し合いへの参加を求める農業者への周知・案内方法のほか、関係機関との役割分担や連携について協議し、将来の農地利用について話し合う場の設置や会議の運営方法等を決定する。</p> <p>②農業基盤整備の推進 現在受理している陳情案件について、現地の再調査を実施し、農地の耕作状況、水管理の状況等を調査し、現状での整備の必要性、緊急性、優先性を再確認する。また、調査結果に基づき、優先すべき案件について総合的に判断し、計画的に実施していく。</p> <p>③有害鳥獣対策 イノシシ対策には長期的な対応が必要であり、持続的な対策を行っていくためには、イノシシの出没が確認されている地区の住民との連携が必要である。県関係機関とも協力しながら、地区ごとの勉強会をはじめ、生息環境管理や被害防除、捕獲強化などを推進していく。また、シカの日撃情報を収集し、アライグマやハクビシン同様、捕獲強化に取り組んでいく。</p> <p>④地産地消の推進 安心安全な地場産農産物の消費拡大とイメージアップを図るため、PR拠点である道の駅おたやOTAマルシェ等を活用し、消費者や来場者に対し積極的に普及促進を図る。また、地場産農産物の学校給食への活用や農業体験活動を通して、子供達の食を支える農業への関心を高めるとともに、市役所を訪れる多くの市民に対し、定期的にロビー市を開催し積極的に地場産農産物のPRに努める。</p> <p>⑤農地等の湛水被害防止対策 農地防災施設では、経年劣化による遊水池等の護岸の軟弱化が進行しており、引き続き国庫補助事業を活用しながら改修を進め、防災減災対策に取り組む。また、排水機場については、老朽化による改修と施設の安全対策を強化するため、運転の自動化に向けた事業を推進していく。</p>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	都市政策部	部局長氏名	田村 敏哉	当初策定	令和 5年 4月 7日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標			中間 評価	令和 年 月 日
	(3) 生活環境の整備	⑦災害に強いまちづくり				
	(3) 生活環境の整備	⑧日常生活の安全を向上させるまちづくり			最終 評価	令和 年 月 日
	(3) 生活環境の整備	⑨良好な環境を保全し向上させるまちづくり				
	(5) 都市基盤の整備	⑪安全で便利な道路や交通機関のあるまちづくり			変更 ①	令和 年 月 日
	(5) 都市基盤の整備	⑫良好な都市空間と住空間を創出するまちづくり				
				変更 ②	令和 年 月 日	

■部の施策					
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会	
基本 施策	1	⑦-16 安全な居住環境の推進		建築指導課、まちづくり推進課	市民苦情の増加、関係者調整、相続の複雑化
	2	⑧-19 交通安全対策の推進		道路保全課	市民要望の多様化、業務量増加に伴う人員不足
	3	⑨-22 廃棄物の適正処理		下水道課	施設の老朽化、補助金等の活用
	4	⑪-27 道路網の整備		道路整備課、道路保全課	関係者との調整、整備費用の増大
	5	⑫-29 土地利用計画の策定・推進		都市計画課	関係機関等との調整、事業進捗の遅れ
	6	⑫-30 景観の保全		都市計画課	制度に関する周知不足、研修会等への参加
	7	⑫-32 市街地の整備		市街地整備課、まちづくり推進課	事業進捗の遅れ、新たな事業手法の研究
	8	⑫-33 住環境の整備		建築住宅課 まちづくり推進課	老朽化による維持費増大、空き家対策
	9	⑫-34 雨水排水路・下水道の整備		道路整備課、道路保全課、下水道課	施設の老朽化、市民要望の多様化
	10				
	11				
	12				
その 他の 施策	1	道路等の管理に関すること		道路整備課	許認可等の適正な判断、市民要望の多様化
	2	建築物等に関する許認可		建築指導課	法令遵守と市民要望の多様化、関係者との調整
	3	スマートインターチェンジ周辺の整備		まちづくり推進課	周辺計画見直し
	4	市有建築物の設計業務・工事監理		建築住宅課	関係者との調整、工事請負者への指導監督
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
■部局長ビジョン（現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など）			■部局長ビジョンに関する今後の展望		
<p>少子高齢化及び人口減少社会に対応するまちづくりの推進に向けて①土地利用計画等の推進②大規模盛土造成地の変動予測確認③区画整理事業検証及び推進④空き家対策の推進⑤道路整備の推進⑥道路舗装補修の推進⑦公営住宅の効率的な維持管理の推進⑧下水道事業の安定的な事業継続の推進を図る。</p>			<p>①地域住民の相互理解・立地適正化計画の改定 ②大規模盛土造成地の地盤調査の実施③太田駅北口周辺整備に向けての検証と区画整理事業の推進④人口減少・高齢化により増加する空き家の対策⑤⑥産業構造に適した道路の整備及び補修の推進⑦公営住宅集約促進事業の推進⑧太田市下水道事業等経営戦略の改定</p>		
■施策の課題（部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策）					
<p>①土地利用計画等の検証と推進 藪塚都市計画はゾーニング機能が不十分であることから土地利用の混在化を解消するための取組が必要である。また、人口減少化に対応する多極ネットワーク型コンパクトシティのまちづくりを目指すため立地適正化計画及び関連事業の検証が必要である。</p> <p>②安全な住環境の推進 大規模地震発生の際、災害発生の際の恐れのある大規模盛土造成地について、市民が安心して生活が出来るよう盛土の安全性確認が必要である。また、人口減少、高齢化社会の進展及び既存住宅の老朽化などに伴い空き家が増加している。特に適切な管理が行われていない空き家については防災、防犯等周辺的生活環境に悪影響を及ぼしており、早急な対策が求められている。</p> <p>③太田駅周辺土地区画整理事業の総合的な検証と都市計画道路整備の推進 事業が長期化しており現計画の変更を含め早期の整備が求められている。地権者との合意形成を図りながら代替整備手法を総合的に検証することが必要である。また、交通渋滞の解消に向けて事業区域内の都市計画道路の整備を進める必要がある。</p> <p>④産業構造に適した道路の整備及び補修の推進 産業団地等の造成に伴う交通体系の変化に適応した道路網の整備が求められている。都市計画道路、幹線道路の整備を進めるとともに、老朽化及び大型車両の通行量増大により舗装の損傷が進んでいるため舗装補修を計画的に実施する必要がある。</p> <p>⑤公営住宅集約促進事業の推進 人口減少社会の進展等により効率的な公営住宅の維持管理が求められている。管理戸数の適正化を図るため、市内公営住宅集約促進事業を推進する必要がある。</p> <p>⑥太田市下水道事業等経営戦略の改定 下水道事業は将来にわたる安定的な事業継続が求められている。太田市下水道事業等経営戦略の策定から5年目となることから、経営戦略を見直し、収支目標の設定と実現に向けたロードマップの策定を行う必要がある。</p>					



## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

また	都市政策部	部局長氏名	田村 敏哉
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p><b>①土地利用計画等の検証と推進</b>        藪塚都市計画においては、勉強会の開催などにより地域住民との相互理解を深め、都市施設整備との整合性その他技術的検証を踏まえ、土地利用計画案を作成する。立地適正化計画については、関連部局や関係機関と協議、調整を図りながら防災指針の策定も含めた計画の見直しを実施する。</p> <p><b>②安全な住環境の推進</b>        第二次スクリーニング計画の策定により判定された大規模盛土造成地8カ所のうち2カ所について今年度、地盤調査に着手する計画であり、調査結果をもとに予防対策等の必要性を判断して対象盛土の住民等に適切な情報を提供していく。        空き家対策については、空き家の所有者や空き家予備軍の高齢者単身世帯に空き家の適切な維持管理責任や、住まなくなった後の家の見通しの重要性を認識させるための啓発を行い、所有者の当事者意識の醸成を図る。また、空き家やその土地の利活用を促進するため空き家バンク及び空き家除却補助金の制度周知をより一層行なう。</p> <p><b>③太田駅周辺土地区画整理事業の総合的な検証と都市計画道路整備の推進</b>        事業が長期化する中、事業区域内の住環境や社会経済状況等が変化しており、早期の整備方針が求められている。事業計画について国、県と協議を進めており、地権者の合意形成を図りながら代替の整備手法を総合的に検証する。また、区画整理事業区域内の都市計画道路本町新井線の整備を進める。</p> <p><b>④産業構造に適した道路の整備及び補修の推進</b>        都市計画道路や幹線道路の整備に際しては、地元関係者との調整を重ね、安全性や品質の確保、工程管理や周辺環境への配慮を適切に行いながら整備を進める。        舗装長寿命化修繕計画に基づき、交通事情を勘案しながら工法を十分に検討して舗装の長寿命化を進める。また、巡回舗装事業により一般市道の舗装補修を定期的実施する。</p> <p><b>⑤公営住宅集約促進事業の推進</b>        市内公営住宅集約促進事業として、大島及び鳥之郷市営住宅において1期新築工事を実施する。2箇年事業でR6年度内完成予定。また、円滑な事業推進を図るため、用途廃止対象団地の入居者に対し、十分な説明をするとともにアンケートを実施し、入居者のニーズの把握に努めるなど、合意形成を図る。</p>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	行政事業部	部局長氏名	阿部 政夫	当初策定	令和 5年 4月12日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標				
	(3) 生活環境の整備	⑨良好な環境を保全し向上させるまちづくり			中間評価	令和 年 月 日
	(5) 都市基盤の整備	⑫良好な都市空間と住空間を創出するまちづくり				
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり			最終評価	令和 年 月 日
					変更①	令和 年 月 日
					変更②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1 ⑨-21 生活環境の保全		花と緑の課	市民への周知
	2 ⑫-31 公園・緑地の整備		花と緑の課	市民要望の多様化、必要人員の不足、関係者との調整
	3 ⑫-29 土地利用計画の策定・推進		用地管理課・用地開発課	事業進捗の遅れ
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1 太田市行政管理公社との連絡調整		事業管理課	関係団体との調整、適正な人員配置
	2 太田市土地開発公社との連絡調整		用地管理課・用地開発課	関係機関との調整、適正な公社会計
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■ 部局長ビジョンに関する今後の展望	
①行政管理公社の組織体制強化の推進 ②公園整備事業及び公園等の適切な管理運営方法の推進 ③丸山商業用地の早期引渡し及び公社所有地の分譲等の推進 ④公有地取得事業等における計画的な事業実施及び健全な組織運営の推進			①戦略的な人員配置と組織活性化による企業価値の向上 ②八王子山墓園整備事業及び新規公園建設整備事業等の推進 ③丸山商業用地開発事業の未相続案件の解決、その他の所有地の分譲や処分を推進 ④関係課との綿密な調整による公有地の取得・精算、今後の事業計画に合わせた効率的な組織運営の推進	
■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)				
①行政管理公社の組織体制強化の推進 行政管理公社の自立運営の基盤を強化し、戦略的な人材マネジメントの仕組みをつくる。				
②公園整備事業及び公園等の適切な管理運営方法の推進 地域住民の要望・意見を反映させた樹木の剪定及び伐採並びに遊具等の施設整備が求められる。今年度は、町民の森公園、太田中央公園内トイレ及び宝泉南部土地区画整理事業に伴い整備予定の(仮称)1号街区公園の整備を実施する。また、八王子山墓園整備事業における用地買収及び設計業務を完了させる。なお、新規整備事業については新たな管理運営方法の検討も必要となる。				
③丸山商業用地の早期引渡し及び公社所有地の分譲等の推進 喫緊の課題である未相続案件を早期に解決する。その後、速やかに優先交渉権者との土地売買契約の締結を行うとともに、年内に店舗がオープンできるよう十分に連携を図る。また、その他のプロパー事業の未処分用地の分譲方法を検討し、早期の売り渡しを進める。				
④公有地取得事業等における計画的な事業実施及び健全な組織運営の推進 太田市の土地利用計画や事業実施計画による担当課からの事業用地取得依頼に基づく公有地の迅速かつ計画的な取得を行い、早期に市の買い戻しを進める。また、事業量の多寡に応じて効率的な組織の管理運営に努め、土地開発公社の健全経営を推進する。				

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

	行政事業部	部局長氏名	阿部 政夫
<b>■対応方針</b> (課題を解決するための対策)			
<p>①行政管理公社の組織体制強化の推進 管理職ポストを拡充し自社による管理機能を整えるとともに、関係団体の事業戦略と職員の人事情報を反映した人員計画を策定する。また、関係団体に向けてコンプライアンス遵守の徹底を促し、職員の心理的安全性を確保する。</p> <p>②公園整備事業及び公園等の適切な管理運営方法の推進 公園・緑地が市民の憩いの場となるよう樹木の剪定及び除草等を実施するとともに、市民からの要望・苦情については、迅速な対応に努める。また、公園内施設については、専門業者による遊具点検の結果及び作業時に職員による施設等の確認を行い、危険箇所等は早急に対処する。整備や改修を予定している町民の森公園・太田中央公園トイレ・(仮称)1号街区公園については、関係部局や地元関係団体等への連絡調整を行う。さらに、八王子山公園墓地整備事業については用地買収及び設計業務を完了させ、早期に工事発注準備を行う。加えて、新規の公園整備事業については、新たな管理運営方法も含めて検討するなど、各公園ごとに適切な対応を行う。</p> <p>③丸山商業用地の早期引渡し及び公社所有地の分譲等の推進 未相続案件に関しては、引き続き継続的に地権者や担当弁護士等と連絡を密にし、出来る限り早期の用地買収を目指す。その後速やかに優先交渉権者との事業用地の売買契約締結が可能となるよう、平行して測量・登記業務を実施する。また新年度早々に建屋の着工となるが、予定されている年内の店舗オープンを念頭におき、引き続き優先交渉権者との綿密な連携を図っていく。</p> <p>④公有地取得事業等における計画的な事業実施及び健全な組織運営の推進 プロパー事業の要請や用地取得の依頼等があった場合は、市の担当課と綿密な調整を行うほか公社内でも十分に連携を取り、用地取得から所有権の移転、市の買い戻しまで、計画的かつ柔軟に対応する。また、今後の長期の事業計画を作成し、それを十分に考慮することによって効率的な組織の管理運営を行う。</p>			
<b>上半期評価</b> (上半期を終えた時点での方針展開の評価)			
<b>■(年度評価) 方針展開の年間評価</b>			



# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	会計課	部局長氏名	青木 繁幸	当初策定	令和 5年 4月 7日
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標		中間 評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり			
				最終 評価	令和 年 月 日
				変更 ①	令和 年 月 日
				変更 ②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1	予算執行管理・経理	会計課	(リスク)
	2			業務ミスによる被害の発生
	3			(機会)
	4			適正な事務処理の指導
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■ 部局長ビジョンに関する今後の展望	
<p>・「公共料金口座振替」や「ファームバンキングによるデータ伝送」への移行を推進すると共に、ICTを活用した審査事務の効率化を研究し、また、所管部署への的確な情報提供を行い、支払い遅延防止の強化を図る。</p> <p>・財務会計システムによる会計事務の安定運用のための情報発信等を行う。</p> <p>・審査・出納事務の今後の効率化についての研究に取り組み、有効な対策を実施する。</p>			<p>財務会計システムの安定運用のための各種対応に努め、適正な決算調製を行う。</p> <p>また、支払いや口座振替用データの伝送のための各金融機関との新たな接続方法による体制を構築する。</p>	
■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)				
<p>① 適正な支出命令書等の作成指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各課から提出される支出命令書等において、「単純な錯誤」が多いこと。</li> <li>○審査事務の効率化を進める必要があること。</li> <li>○審査基準の均衡化と職員資質の向上を図るための適切な指導が必要であること。</li> </ul> <p>② 正確で効率的な出納事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○庁内各部署や指定金融機関と連携をとり、正確かつ迅速な会計処理のための工夫が必要であること。</li> <li>○法令や条例、規則を遵守した適正な出納事務を行うこと。</li> </ul>				

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	会計課	部局長氏名	青木 繁幸
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p>① 適正な支出命令書等の作成指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○チェックリストの活用を促すと共に、電話等による個別口頭指導を随時実施する。</li> <li>○必要に応じ会計事務に関する情報を提供するため、新着情報の発信を積極的に行う。</li> <li>○「会計事務の手引き」等を活用し、支出伝票作成における錯誤等の多かった点の重点指導、啓発に努める。</li> <li>○審査の過程で、効率化を図るための事例を抽出し、改善に努める。</li> <li>○例月出納検査結果等を踏まえ、毎月定例の職場研修を実施し、職員のスキルアップ、レベルアップを図る。</li> </ul> <p>② 正確で効率的な出納事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各所属が歳入事務及びその他の出納事務を間違えなく行えるよう、情報発信による啓発を行う。</li> <li>○公共料金口座振替の移行を推進する。</li> <li>○ファームバンキングを利用したデータ伝送を実施している部署に、誤りのない伝送処理を指導する。</li> <li>○財務会計システム及びデータ伝送による振込エラーの削減を推進する。</li> </ul>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	消防本部	部局長氏名	竹内 富雄	当初策定	令和 5年 4月11日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標			中間評価	令和 年 月 日
	(3) 生活環境の整備	⑦災害に強いまちづくり				
					最終評価	令和 年 月 日
					変更①	令和 年 月 日
					変更②	令和 年 月 日

■部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1 ⑦-15 消防・救急体制の充実強化		消防総務課・予防課・警防課・救急課・通信指令課	効率的・効果的な消防体制づくり
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1 人材育成に関する事		消防総務課	人材育成基本方針に基づく研修機会の提供
	2 消防団の充実強化に関する事		消防総務課	消防団員の減少
	3 消防庁舎等の建設及び維持管理に関する事		消防総務課	関係者との調整と事業進捗の遅れ
	4 住宅用火災警報器に関する事		予防課	高齢者世帯における住警器設置の促進
	5 違反是正に関する事		予防課	審査請求及び行政訴訟の提起
	6 災害対応能力の充実強化に関する事		警防課	多様化する災害への安全迅速な対応
	7 教育研修及び効果確認の推進	○	救急課	力量及び市民サービスの向上
	8 高機能消防指令センターの運用管理に関する事		通信指令課	災害発生時の対応の遅れ
	9			
	10			
	11			
	12			
■部局長ビジョン（現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など）			■部局長ビジョンに関する今後の展望	
①組織力の強化・人材育成 ②消防団の再編・強化 ③消防分野におけるDXの推進			①管理職員の人材育成及び人材育成基本方針の実践。 ②中長期的視点に立った消防団の体制・基盤の充実に向けた計画の策定。 ③デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針に基づき、消防行政におけるDXに関する調査研究を行う。	
■施策の課題（部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策）				
①人材育成に関する事 消防本部人材育成基本方針の周知徹底を図るとともに、自己啓発の支援と計画的な専門研修への派遣を行うことで、職員の育成を行う必要がある。 ②消防団の充実強化 地域防災の主体である消防団の強化のため基本団員の加入促進を行うとともに、機能別消防団員の確保と効果的運用について検討が必要である。 ③消防庁舎等の建設及び維持管理に関する事 西部消防署庁舎等建設事業及び西部消防署尾島分署改修事業においては、関係者との十分な調整と適切な施工管理が必要である。 ④住宅用火災警報器に関する事 住宅火災による死者の約7割が65歳以上の高齢者であり、主な原因は「逃げ遅れ」により発生している割合が高い。今後はさらなる高齢化の進展に伴い死者数の増加が心配されており、その予防策は住宅用火災警報器が最も有効であるが約2割が未設置である。 ⑤違反是正に関する事 重大違反対象物について、前年度からの継続により今年度当初時点で53対象物が存する状況である。このことから、効果的な違反処理等による違反是正が課題となる。 ⑥災害対応能力の充実強化に関する事 災害時における効果的な消防活動を推進し、車両、装備、消防水利の充実を図る。 ⑦教育研修及び効果確認の推進 市民サービスの品質を一定に保つためには、救急隊員のスキルの平準化が必要である。 ⑧高機能消防指令センターの運用管理に関する事 指令業務を円滑に遂行するにあたり、指令担当員のスキル維持と高機能消防指令センターの安定稼働を継続させるため、訓練及び定期的な点検、メンテナンスが必要である。				

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	消防本部	部局長氏名	竹内 富雄
<b>■対応方針</b> （課題を解決するための対策）			
<p>①人材育成に関すること            目指すべき消防職員像に向け、職員への意識啓発を積極的に行うほか、計画的に専門研修へ派遣することで職員の育成を行う。</p> <p>②消防団の充実強化            基本団員加入促進のため、団全員による勧誘活動の展開と消防団活動のPRを行う。また、機能別消防団員では活動を十分検討し団員確保に努める。</p> <p>③消防庁舎等の建設及び維持管理に関すること            関係者と綿密に調整を行うとともに、現場の進捗状況を把握し、適切に施工管理を行うことで、計画的に事業を執行する。</p> <p>④住宅用火災警報器に関すること            住宅用火災警報器設置促進のため、消防車両による広報活動や住宅への個別訪問、また広報誌の掲載やコミュニティラジオ放送を利用した啓発活動を展開するとともに、適切な維持管理の必要性についても周知徹底を図る。さらには高齢者世帯の設置率向上のため取付支援、設置事業を継続実施し、住宅火災においての逃げ遅れによる死者を防ぐ。</p> <p>⑤違反是正に関すること            火災予防査察規程違反処理基準に基づき、重大違反対象物に対し行政指導(立入検査結果通知書・警告書)による是正指導に応じない履行義務者には、行政処分(命令)での対応を視野に各署との連携を密にし是正指導の強化を図る。</p> <p>⑥災害対応能力の充実強化に関すること            計画的な消防車両等の更新整備及び消防水利の充実を図るとともに、災害対応訓練や検討会を実施し消防活動体制の継続的な改善を図る。</p> <p>⑦教育研修及び効果確認の推進            救急隊員のスキルを平準化するため、教育研修及び効果確認を推進し、隊員のスキルアップと質の維持を図る。</p> <p>⑧高機能消防指令センターの運用管理に関すること            適切な通報受信及び出動指令を遂行するための研修と訓練を実施するとともに、高機能消防指令センターの定期的な点検と必要に応じたメンテナンスを実施する。</p>			
<b>■上半期評価</b> （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
This area is intentionally left blank for evaluation content			
<b>■（年度評価）方針展開の年間評価</b>			
This area is intentionally left blank for annual evaluation content			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	教育部	部局長氏名	小内 正	当初策定	令和 5年 4月12日	
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標				
	(1) 教育文化の向上	①教育が充実し青少年が健やかに育つまちづくり			中間評価	令和 年 月 日
	(1) 教育文化の向上	③豊かな心と文化を育むまちづくり				
					最終評価	令和 年 月 日
					変更①	令和 年 月 日
					変更②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1 ①-1 義務教育の推進		学校教育課・学校施設管理課	感染症等の発生、学力の維持・向上、施設の老朽化
	2 ①-2 高校教育の充実		市立太田高校	施設の老朽化・工程管理
	3 ①-3 青少年の健全育成		生涯学習課	参加者の事故、市民要望の多様化
	4 ③-5 生涯学習の推進		生涯学習課	市民要望の多様化
	5 ③-7 文化財の保護活用		文化財課	文化財の劣化
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1 教育委員会の総務管理		教育総務課	給食調理員等の必要人員不足
	2 学校給食の運営・管理		学校施設管理課	給食費の未納対策
	3 中高一貫教育のさらなる充実		学校教育課・市立太田高校	人材流出、グローバル人材育成、中高教員の連携
	4 奨学金制度の充実		教育総務課	返還金の滞納
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■ 部局長ビジョンに関する今後の展望	
①児童生徒の減少など社会環境の変化に対応した学校運営を目指す ②教育が充実し児童生徒が健やかに育成できる環境整備を推進する ③市民の誰もが教育文化を育める施策の推進を図る			①多様な学習環境の提供と学力向上に向けた組織的な取り組みを推進する ②文化財資源の保存と有効活用を推進する ③奨学金及び給食費の滞納対策を強化する ④各学校の施設整備事業等の環境整備を推進する ⑤成人式を始めとする各事業の充実を図る ⑥教育委員会事務を適正に運営する	
■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)				
①多様な学習環境の提供と学力向上に向けた組織的な取り組み 学力の向上と、知・徳・体の調和の取れた「生きる力」の育成、質の高い教育を維持継続するため、適正な学校規模と学校配置にかかる基本方針を策定する。中高一貫教育のさらなる充実及び広い視野を持って、自ら学び、考え、判断して行動できる生徒の育成。 ②文化財資源の保存と有効活用 文化財の保存活用推進。保護と活用に資する積極的な情報発信。各施設の機能向上。 ③奨学金及び給食費の滞納対策 奨学金及び給食費の滞納に対し、太田市債権管理条例に基づく適正な債権管理による滞納額の縮減。 ④各学校の施設整備事業等の環境整備 GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の活用を促進するために必要な大型モニター等の整備。教育環境における安全性の確保と老朽化した学校施設の改善・更新を図る。 ⑤成人式を始めとする各事業の充実 コロナ感染症の制限緩和に伴い、生涯学習事業(市民教室、家庭教育学級、おおた金山中学校等)及び青少年健全育成事業(青少年交流事業、サイエンスアカデミー、成人式等)の各事業の実施にあたり、安全・安心を最優先に考慮し、より魅力ある事業の提供を図る。 ⑥教育委員会事務の適正な運営 教育委員会の適正な事務運営に向け、関係課との連携を密に図る。また、各学校及び各施設において適切な人員配置を行う。				

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	教育部	部局長氏名	小内 正
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p>①多様な学習環境の提供と学力向上に向けた組織的な取り組み          学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成と実施及び学習指導の充実を図る。特に「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、ICTの有効活用を促進し、確かな学力を身に付けさせる。また、いじめや不登校等の諸課題に対応するため、人権・道徳教育や生徒指導等の充実を図り、豊かな人間性を育成する。さらに、児童生徒により良い教育環境を整備し、質の高い教育を維持・継続するため、適正な学校規模と学校配置について、基本方針を策定する。中高が連携した6年間の一貫したプログラムを通して学力向上を図るとともに、グローバル人材育成事業を通じて主体性・多様性を持ち合わせた地域の発展に貢献できる生徒の育成に取り組む。</p> <p>②文化財資源の保存と有効活用          資料館等での各種展示会、学校等での出前講座の開催、史跡探検スタンプラリー等、文化財を活用した事業を充実させる。さらに、市YouTubeサイトで情報発信する。老朽化した文化財説明板の建て替えを進める。金山城跡ガイドダンス施設展示ギャラリーの照明をLED化する。</p> <p>③奨学金及び給食費の滞納対策          奨学金では、新たに導入したシステムを有効に活用した適正な債権管理に努めるほか、滞納者に対し督促を確実に実施する。また、給食費では滞納者への法的措置の実施や条例第17条に該当する債権を放棄するなど、適正な債権管理に努める。</p> <p>④各学校の施設整備事業等の環境整備          学校施設の現状を把握し、必要な整備を図る。校舎の外壁改修、トイレの大規模改修を行い、防災機能強化と学校環境の整備を図る。</p> <p>⑤成人式を始めとする各事業の充実          生涯学習事業（市民教室、家庭教育学級、おおた金山中学校等）については、幅広い世代を対象に生涯学習機会の充実を図るため、アンケート結果や利用者の意見を参考に、多様化する市民ニーズに対応した学習機会の提供を図る。また、青少年健全育成事業（青少年交流事業、サイエンスアカデミー、成人式等）については、安全・安心な実施を念頭に、危機管理の徹底並びに事業内容の充実を図り、より魅力ある事業の提供を行う。</p> <p>⑥教育委員会事務を適正な運営          各種事務の点検評価を実施し、関係課と情報を共有しながら事務を運営する。また、各学校及び施設における業務量の適正把握に努め、適切な人員配置を行う。</p>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			



# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	議会事務局	部局長氏名	関根 進	当初策定	令和 5年 4月12日
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標		中間 評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり			
				最終 評価	令和 年 月 日
				変更 ①	令和 年 月 日
				変更 ②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1	議会に関すること	議会総務課	関係者との調整
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■ 部局長ビジョンに関する今後の展望	
<p>○議会運営が滞りなく行えるよう万全を期すことはもとより、市民にとって「身近な議会」「開かれた議会」「分かりやすい議会」「信頼される議会」の実現のため、積極的な情報の発信と活発な議論を促す仕組み作りに努める。</p> <p>○議会基本条例に基づく議会改革の推進の支援に努める。</p>			<p>○事務局として各議員の議員活動に対するフォローに万全を期す。</p> <p>○住民と議会との意思疎通の充実</p> <p>○議会の活動のデジタル化</p>	
■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)				
<p>①議会に関すること</p> <p>市は、基礎的な地方公共団体として市民生活に密着した事務事業を行っており、その政策決定において市議会は極めて重要な役割を果たしている一方、近年の地方選挙における競争率の低下など地方政治への関心の低さが顕在化している。このような状況の中であっても、市民が自治体に寄せる潜在的な期待は大きく、議会には、チェック機関としての役割のほか意思決定機関として市民の声を市政に反映することが求められている。</p> <p>議会事務局としては、議員が市民の負託に応えるため円滑に議会活動ができるようにサポートするとともに、議会の機能が十分に発揮できるよう支援する。</p> <p>議会傍聴者やインターネット配信による閲覧者数を増やすとともに、読みやすい議会だよりの発行や積極的な情報発信をすることにより、市民の議会に対する関心を高める。</p>				

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	議会事務局	部局長氏名	関根 進
■対応方針 (課題を解決するための対策)			
①議会に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会関係情報の発信をより効果的に行い、市民の認知度・関心の向上を図る。</li> <li>・議員活動に係る透明性をより向上させ、市民の信頼性を高める。</li> <li>・議会事務局職員の資質・能力向上のため各種研修の充実を図る。</li> <li>・議員の各種調査に係る支援について、より迅速なものとするなど充実を図る。</li> <li>・オンライン会議による委員会等の開催について、今後の円滑な運用のための環境づくりを行う。</li> </ul>			
■上半期評価 (上半期を終えた時点での方針展開の評価)			
■(年度評価) 方針展開の年間評価			



# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	選挙管理委員会事務局	部局長氏名	瀬古 茂雄	当初策定	令和 5年 4月 3日
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標		中間 評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり			
				最終 評価	令和 年 月 日
				変更 ①	令和 年 月 日
				変更 ②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1	選挙の執行	選挙管理委員会事務局	投票率の低下
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■ 部局長ビジョンに関する今後の展望	
①投票所の統廃合や変更及び共通投票所についての調査研究 ②投票率の向上 ③主権者教育の一助となる啓発活動			①有権者の理解と協力に基づきながら進める。 ②選挙啓発活動を継続する。 ③若年層に対する啓発活動を強化する。	
■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)				
①予定されている選挙の準備及び執行を速やかに安全に正確に行う。 ・太田市議会議員選挙 令和5年4月23日執行予定 (任期満了日 令和5年4月25日) ・群馬県知事選挙 令和5年7月23日執行予定 (任期満了日 令和5年7月27日)				
②投票所の統廃合等について 将来的な共通投票所の導入を見据えて、期日前投票所も含めた投票所の統廃合や変更を検討する。				
③常時啓発の実施 近年の投票率の低下傾向を少しでも改善するため、特に若年層を意識した啓発活動や学生など将来の有権者に対する啓発を行う。				

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	選挙管理委員会事務局	部局長氏名	瀬古 茂雄
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p>①予定されている選挙の準備及び執行を速やかに安全に正確に行う。  選挙の執行事務は、限られた期間内に集中的に、かつ大量に発生し、手続等については厳密に法令で定められている。この事務を迅速、的確に処理しなければならず、また誤りは許されないため、早めに執行体制を確立することが重要である。そのことに対応するため、必要な人的配置を確立し、計画的な準備とスケジュール管理を行い選挙執行にあたる。</p> <p>②投票所の統廃合等について  有権者にとって利便性の低い投票所などについて、地元区長と協議しながら投票所の統廃合もしくは代替施設の検討を行う。また、将来的な共通投票所への移行を想定した準備や検討をするとともに、効果的な期日前投票所の設営について研究する。</p> <p>③常時啓発の実施  ・市内の中学校や高等学校等に対する出前授業  出前授業の実施を呼びかけ、県選管が実施する場合は、職員の派遣や備品の貸し出しで協力し、学校側から直接に実施の依頼があった場合は、当委員会で対応する。  ・広報媒体を活用しての啓発  広報おおた、エフエム太郎、太田市ホームページ及び市民課モニターを活用して啓発を行う。  ・イベント会場での啓発  スポレク祭、OTAマルシェ、成人を祝う会などの若年層の集まるイベント時においてチラシ配布等の啓発を行う。</p>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	監査委員事務局	部局長氏名	浅香 信	当初策定	令和 5年 4月 4日
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標		中間 評価	令和 年 月 日
	(6) 健全な行政運営の推進	⑮効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり			
				最終 評価	令和 年 月 日
				変更 ①	令和 年 月 日
				変更 ②	令和 年 月 日

■ 部の施策					
		主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
その 他の 施策	1	監査の充実		監査委員事務局	監査基準の適正な運用及び職場研修の充実
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				

<b>■ 部局長ビジョン</b> （現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など） 地方自治法第2条に規定されている趣旨に則り、市民の福祉の増進と市政への信頼確保に資する監査を、太田市監査基準に従い適正に実施する。	<b>■ 部局長ビジョンに関する今後の展望</b> 定期監査・例月出納検査及び決算審査・健全化判断比率等審査に加えて、財政援助団体等監査や行政監査を計画的に実施する。
---	--

<b>■ 施策の課題</b> （部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策） ①監査の充実 市民の行財政運営に対する関心が高まる中であって、事務事業の執行や財産の状況などの適正性が求められている。市民から信頼される行財政運営及び市政の健全性と透明性の確保に寄与するため、より効率的かつ効果的な監査を実施する必要がある。
---

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	監査委員事務局	部局長氏名	浅香 信
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p>①監査の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査結果として確認された改善事項について、各所属に対して積極的に事務指導等を行うことで、ともに考え改善する監査を目指す。</li> <li>・また、各種事務を所管する部署との連携を深めることにより業務改善及び再発防止を促す。</li> <li>・事務局職員は研修会等に積極的に参加し、監査に必要な専門的知識やスキルの習得に努め、併せて職場内で研修内容を水平展開することにより職場全体の知識・スキルを高め、効果的な監査の実施に繋げる。</li> <li>・タブレット端末の導入に伴い、資料等のデジタル化などにより監査の効率化を図る。</li> </ul>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			

# 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	農業委員会事務局	部局長氏名	高柳 雄次	当初策定	令和 5年 4月 3日
第2次 太田市 総合計画	基本理念	基本目標		中間評価	令和 年 月 日
	(4) 産業経済の振興	⑩活力ある産業とにぎわいのあるまちづくり			
				最終評価	令和 年 月 日
				変更①	令和 年 月 日
				変更②	令和 年 月 日

■ 部の施策				
	主な施策名	新規	担当部署	想定されるリスク・機会
基本 施策	1 ⑩-25 農業生産基盤の整備と農業経営基盤の強化		農業委員会事務局	荒廃農地の拡大・農地貸借の仲介
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
その 他の 施策	1 農地の有効利用及び農地法の遵守		農業委員会事務局	担い手不足・法制度改正
	2 耕作放棄地の解消及び農地の利用集積の推進		農業委員会事務局	農業委員等による訪問指導
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
■ 部局長ビジョン (現在検討中の新しい方針・施策、数年スパンで見た事業計画など)			■ 部局長ビジョンに関する今後の展望	
①農地の有効利用及び農地法の順守 ②遊休農地の解消及び農地活用の推進			①農地法の順守を徹底し、優良農地の保全を図る。 ②遊休農地を解消し、農地の有効活用を図る。	
■ 施策の課題 (部の施策のうち、解決すべき課題を抱える重点施策)				
①農地の有効利用及び農地法の遵守 限りある農地の有効利用を図るため、農地法を遵守し農地の乱開発及び違反転用を防止し、優良農地を守る必要がある。				
②遊休農地の解消及び農地活用の推進 農業者の高齢化や担い手不足が進み、遊休農地が発生し、近隣農地のほか、道路や住宅地にも雑草等が侵入し市民生活に悪影響が生じている。				

## 令和5年度部方針書

◎将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

部局名	農業委員会事務局	部局長氏名	高柳 雄次
■対応方針 （課題を解決するための対策）			
<p>①農地の有効利用及び農地法の遵守 農地法を遵守し、公平・公正・透明かつ迅速に許可業務を実施し、農地の有効利用と優良農地の確保に努める。</p> <p>②遊休農地の解消及び農地活用の推進 農地利用最適化推進委員が、農地パトロールの中で一部タブレット端末を利用した現地確認による遊休農地の発見に努め、遊休農地の所有者へ解消指導とあっせんの相談を行う。なお、担い手と所有者の仲介役となることで農地の活用を推進する。</p> <p>③地域計画における現状地図・目標地図の素案作成 地域計画が法定化されたことにより、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するために農地所有者・耕作者を対象にアンケート調査を行い、農業経営の拡大・縮小や後継者の有無などを把握し、現状地図とアンケートの結果等を反映した目標地図の素案を作成して話し合いの場へ情報提供する。</p>			
■上半期評価 （上半期を終えた時点での方針展開の評価）			
■（年度評価）方針展開の年間評価			